

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

| No | 総合戦略事業 | 事務事業名 | 事業の概要 (令和4～6年度) | 事業の成果 (令和4年度) | 今後の課題・方向性 | 部局名 | 課名 | 関連事業 (決算事業別概要ページ) |
|----|--------|---------------------------|---|--|--|-------|------------|----------------------|
| 1 | ○ | 鳥取市生涯学習推進講座 麒麟のまちアカデミー開設費 | 麒麟のまちアカデミー尚徳大学、市民大学（技能コース、教養コース）、ファブラボとっとり等で提供する様々な生涯学習講座を麒麟のまちアカデミーとして集約し、子どもから高齢者まで切れ目ない多様な学びの場を提供する。 | 本市の生涯学習の拠点である文化センターを拠点に既存の各種生涯学習講座を一体的に運営 ・尚徳大学 ・市民大学 ・ファブラボとっとり ・アドバイザー派遣事業 | 今後も麒麟のまち圏域で情報共有しながら、圏域全体の生涯学習の活性化を推進する。令和5年度より、圏域住民も利用可能であることをより明確にするため、「市民大学」の名称を「教養コース・技能コース」に改める。 | 教育委員会 | 生涯学習・スポーツ課 | 296 |
| 2 | ○ | 子育てネットワーク推進事業費 | 地域における家庭教育支援ネットワークの構築を支援するため、幼稚園、小学校、地区公民館で開催される「子育て・親育ち講座」等を実施する。 | 「子育て・親育ち講座」の実施 小学校・義務教育学校 43校 | 講座への参加機会を提供するため、保育園、小学校・義務教育学校で行っている支援を、地域の子育てサークルにも拡げて事業を展開していく。 | 教育委員会 | 生涯学習・スポーツ課 | - |
| 3 | ○ | 地区公民館事業費 | 全61地区（全62地区公民館）において、生涯学習事業実施し、社会教育によるまちづくりと地域の活性化につなげる。 | 地区公民館による生涯学習事業の実施 ・地区公民館 51館 ・一括交付金 11地区 | 将来の地域づくりや現状の身近な地域課題の解決に向けた取組などに学んだ成果を生かし、地域の活性化につなげるため、継続して実施する。 | 教育委員会 | 生涯学習・スポーツ課 | 297 |
| 4 | ○ | 地域学校協働活動推進事業費 | モデル地区に地域学校協働活動推進員を配置し、地域全体で子どもたちの成長を支える地域と学校の連携協働体制の整備を推進する。 | 地域学校協働推進員の配置地区 14地区 | モデル地区での成果を未実施地区と共有するなどにより、事業への参入を促進する。 | 企画推進部 | 生涯学習・スポーツ課 | 297 |
| 5 | ○ | さじアストロパーク企画イベント等事業費 | さじアストロパークを活用し、イベント等を開催する。 | ・アストロパーク3大祭り（星、月、雪） ・プラネタリウム独自開発番組の制作 | 今後も継続してイベント事業を実施し、星、月、雪といった地域の特色を生かした学習を促進していく。 | 教育委員会 | 生涯学習・スポーツ課 | 299 |

| No | 総合戦略事業 | 事務事業名 | 事業の概要 (令和4～6年度) | 事業の成果 (令和4年度) | 今後の課題・方向性 | 部局名 | 課名 | 関連事業 (決算事業別概要ページ) |
|----|--------|---------------|---|---|---|-------|-------|----------------------|
| 6 | | 地域社会教育活動総合事業費 | 子どもから大人まで市民の読書活動を推進するため、絵本の読み聞かせや各種講演会の開催、読書ボランティアの育成等を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書活動の推進に係る事業の実施 読書ボランティア養成講座の実施 郷土に関する事業の実施 市民との協働による事業の実施 こども食堂への配本 拡大図書などのアクセシブルな書籍の充実 | すべての市民の読書活動を推進するため引き続き取組を継続する。 | 教育委員会 | 中央図書館 | 305 |
| 7 | | 電子図書館管理運営費 | 365日24時間、いつでもどこにいても、現在の読書環境に障がいを感じている人（高齢者や障がい者等）も、インターネットを通じて電子書籍の貸出、返却ができる環境づくりを進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 電子図書館システムの導入 コンテンツの購入 500コンテンツ（年度末貸出可能コンテンツ10,180点） サピエ図書館への加入 | 令和5年度において、図書館情報管理システムと電子図書館システムの連携を構築し、利用者の利便性を向上させるとともに、小中学生向け調べ学習用コンテンツを中心に利用できる電子書籍を拡充する。また、利用拡大のため、読書環境に障がいを感じている人（高齢者や障がい者等）などへの広報を積極的に行う。 | 教育委員会 | 中央図書館 | 383 |